

# リサーチマインドを持った 総合診療医の養成

## 第2回 合同公開フォーラム

事前申込み  
不要  
参加費  
無料

今後の日本に求められる総合医養成の課題と展望



期日=平成27年1月30日[金] 10:00~16:30

会場=千里ライフサイエンスセンター

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2 <http://www.senrilc.co.jp/access/index.html>

対象=総合診療に興味のある医療関係者、大学関係者、行政関係者、メディア等

将来の超高齢社会における地域包括ケアシステムに対応できる優れた総合診療医の養成について、選定大学における取組事例も含め各界の参加者が幅広い視点で議論いたします。

### [プログラム]

特別講演 寺門成真(文部科学省高等教育局医学教育課長)

セッション1 総合診療医養成にかかる拠点からの発信と日本の将来像

セッション2 拠点形成事業の進捗と展望

セッション3 超高齢社会に対応する総合診療医養成の課題と展望

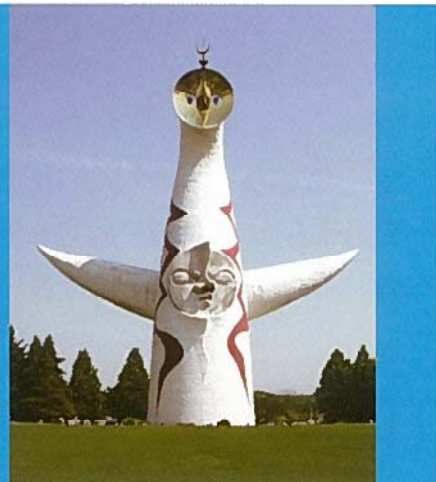
シンポジウム 今後の日本に求められる総合医および、本事業の継続性について

新木一弘(南魚沼市ゆきぐに大和病院)

大内尉義(社団法人 日本老年医学会 理事長・虎の門病院院長)

太田秀樹(医療法人 アスミス 理事長)

梶井英治(自治医科大学 地域医療学センター長)



フォーラムに参加された方には以下の専門医・認定医更新のための単位が付与されます。  
日本老年医学会 2単位/日本プライマリ・ケア連合学会 5単位

万博記念公園太陽の塔  
会場の千里中央駅からモノレールで約10分

主催=大阪大学

後援=社団法人 日本老年医学会、一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会

<http://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp/home/sotsugo/sougou-i/index.html>

[事務局] 大阪大学医学部附属病院卒後教育開発センター 電話:06-6879-5054・5055



詳細はこちら



# リサーチマインドを持った総合診療医の養成

## 課題

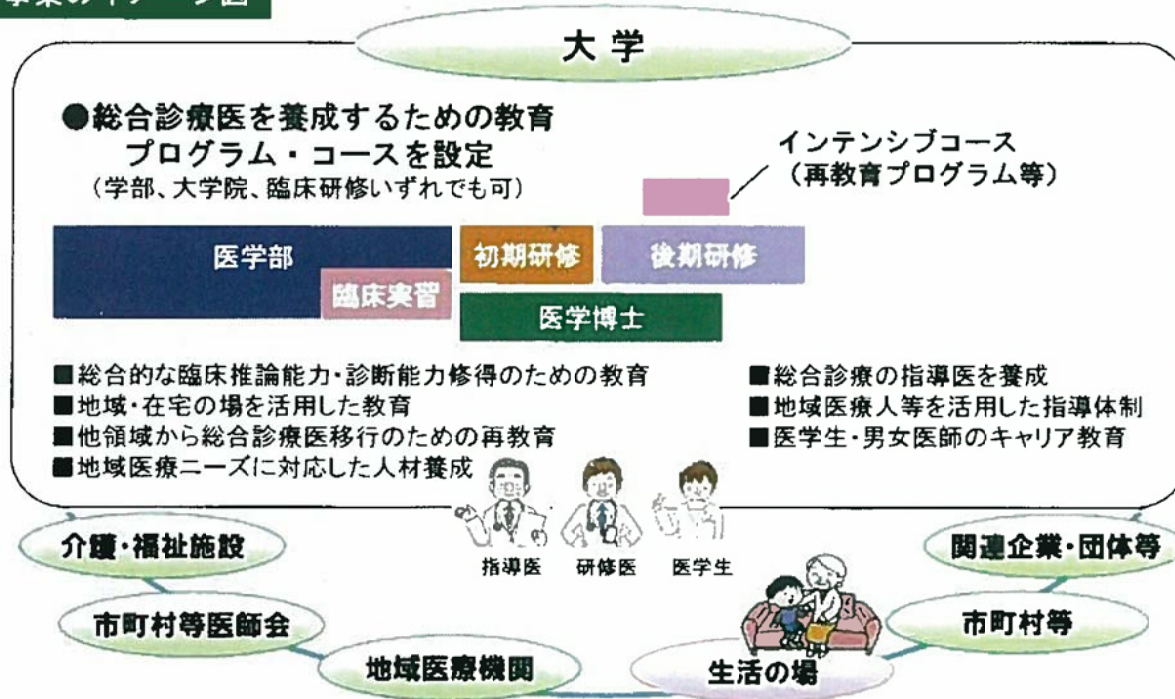
◇急速な高齢化の進展が見込まれるなか、「医療」「介護」「予防」「生活支援」「住まい」の5つの要素を柱とした「地域包括ケアシステム」が各市町村で実現できるかどうか新たな課題  
 ◇特に、医療面では、高齢者に対して、多様な医療（総合診療、在宅医療、認知症対応、緩和ケア、在宅看取り等）を包括的かつ柔軟に提供することが必要  
 ◇さらに、高齢社会に伴う医療ニーズの変化に対応し得るリサーチマインドを持ち、医療の進歩と改善に資する臨床研究を遂行できる医師が必要

## 対応

◇各大学が理念や強み、特色、地域性等を活かして、地域の医療機関や市町村等と連携しながら、将来の超高齢社会における地域包括ケアシステムに対応できるリサーチマインドを持った優れた総合診療医等を養成

※「事業のイメージ図」はあくまでも例ですので、各大学の自由な発想で優れた事業計画を立案してください。

## 事業のイメージ図



## <アウトプットの例>

- 医療のパラダイムシフト  
 (例)  
 専門医療 → 専門医療・総合診療  
 入院・外来医療 → 入院・外来・在宅医療
- 地域包括ケアに貢献できる人材  
 ・総合的な診療能力を持った人材  
 ・全人的医療ができる人材  
 ・高齢者医療ができる人材  
 ・多職種連携・チーム医療・リーダーシップのとれる人材
- 男女医師のキャリア形成

文部科学省 未来医療研究人材養成拠点形成事業に採択され、リサーチマインドを持った総合診療医の養成に取り組む大学

東北大学、筑波大学、千葉大学、東京大学、新潟大学（新潟医療福祉大学・新潟薬科大学）、富山大学、三重大学、大阪大学、島根大学（神戸大学・兵庫医科大学）、岡山大学、九州大学、長崎大学（長崎純心大学）、札幌医科大学、名古屋市立大学（名古屋学院大学・名古屋工業大学）、東京慈恵会医科大学